

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会
	課名	スポーツ文化課
	係名	体育係
	記入者	
	電話(内線)	612

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	体育施設管理運営事業(鹿窪運動公園)				(3) 事業の 優先度	A	
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市			
① 事業の区分	主要事業				(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)			
② 施策コード	43101		(総合計画掲載ページ 109 ページ)			会計区分	一般会計			
基本目標(政策)	4		未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)			財源区分	市単独			
基本施策	3		誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進			予算科目	款 10		項 6	目 2
施策			スポーツ・レクリエーション活動環境の充実			予算書上の	鹿窪運動公園管理運営経費			
施策内容			施設の有効活用			事業名称	(予算書 185 ページに掲載)			
(5) 事業期間						(8) 事務分類		自治事務		
	開始	昭和	24	年		月から				
	終了			年		月まで(力年)		
					根拠法令	結城市鹿窪運動公園施設の設置及び管理に関する条例				

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)
施設利用者	適切な維持管理により、「成人週1スポーツ」の実現に向け、利用者が安全にスポーツ等を楽しめる拠点となる施設として整備を進める。
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
・鹿窪運動公園管理を指定管理者に委託し、適切な維持管理を実施する。 ・第4駐車場を買収し、不足している駐車場を確保する。 ・施設用備品の管理を実施し、適切な備品の更新を行う。 ・年次計画により、整備工事を行う。 28年度 進入路水たまり解消・ポストコーン設置 29年度 ゲートボール改修・駐輪場屋根改修 30年度 駐車場ライン引き	体育施設の整備に合わせ、維持管理を実施。近隣他市も、市民スポーツの拠点となる施設を有し、独自に管理を実施している。
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
市民のニーズが多様化しており、優先順位の高いものから計画的に実施。また、体育施設及び施設備品等の修繕や更新を順次実施。	

3. 事業コスト

行政評価 実施計画		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映	
● 予算内訳		実績額(千円)	当初予算額(千円)	計画額・見込額(千円)			
事業内容		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
(1) 事務事業費の コスト	需用費	1,339	2,052				
	役務費	83	87				
	委託料	65,904	72,520				
	使用料及び賃借料	1,786	1,586				
	工事請負費	3,564	0				
	備品購入費	0	0				
	合計	72,676	76,245				
	国庫支出金(千円)						
	県支出金(千円)						
財源	地方債(千円)						
	その他特定財源(千円)						
	一般財源(千円)	72,676	76,245				
	合計(千円)	72,676	76,245				
	補助・起債制度名						

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称			単位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	事業開催 (指定管理者自主事業・共催事業)	目標値	回		25	25	25	25	
		実績(見込)値		18	25				
		目標値							
		実績(見込)値							
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	施設利用者数	目標値	人		180,000	180,000	180,000	180,000	
		実績(見込)値		159,471	180,000				
		達成率		88.6 %	100.0 %				
		目標値							
		実績(見込)値							
		達成率	%	%					
5. 事業評価									
(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。 ・利用者へのサービスの向上, 施設の充実を図るため、各種設備の修繕, 器具等の更新を実施。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価					理由				
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	成人週1スポーツの拠点となる施設であり、今後も適切な管理を実施しなければならない。					
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	現在のやり方が一般的である。					
	手段の妥当性	A	妥当である	現在のやり方が一般的である。					
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	施設の改修, 設備切り替え等					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	市民の誰もが利用できる施設であり、性質上利用できない種目等があるが、一般的であり公平性は確保されている。					
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	昨年度より利用者は若干減っているが、概ね横ばい傾向である。					
進捗度	事業の進捗	A	順調である	順次, 施設改修, 器具等の更新を実施。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。 ・大規模な大会開催時に駐車場が不足する。 ・利用者の増加及び満足度の向上のため、施設の安全確保及び機能強化を図る。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？ ・今後も施設・設備の強化, 拡充及び安全対策を計画的に行っていく。自主事業・共同事業等の積極的開催, コスト効率の改善を図る。 ・現在借地している駐車場及びその隣地の買収を行い、駐車場の整備を図る(都市計画課と調整)。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		27年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減, 成果維持・コスト維持又はコスト削減)			指定管理者制度の利点を活用しつつ、市との連携を密にしながら、「成人週1スポーツ」の実現に向け、利用者が安全にスポーツ・レクリエーションを楽しめる拠点となるよう整備充実を図る。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。				